

**2025 年度
(10 月入学)**

名古屋大学国際プログラム群

学部学生募集要項

2025 年度名古屋大学国際プログラム群(英語による教育で学位が取得できる教育プログラム)の学部学生を本募集要項により募集します。(外国籍の者に限らず, 日本国籍の者も出願可)

目次

アドミッションポリシー	3
I. 出願資格	3
II. 出願要件	5
III. 募集人員	5
IV. 選考基準	6
V. 出願手続	7
1. 出願期間	8
2. 検定料の支払い及び出願書類提出方法	9
3. 障害のある者等の出願	17
4. その他	17
VI. 選抜方法	18
VII. 合格者発表	19
VIII. 入学手続き	20
1. 入学料の振り込み	20
2. その他入学料以外の学生納入金(入学後に支払・予定額)	21
3. 出願時に高等学校を卒業(修了)見込みの志願者に対する注意	21
IX. その他	22
X. 問い合わせ先	22
参考資料 1 英語出願資格一覧(出願要件Ⅱ.2)	23
参考資料 2 プログラム別の推薦者 A の科目要件	26
参考資料 3	
一般的な大学入学要件に加え、各プログラム別の要件国家試験等の統一試験等の受験推奨科目	27
Essay Questions	28
出願に関するスケジュール	31

アドミッションポリシー

アドミッションポリシーについては、「全学のアドミッションポリシー」を参照してください。
(http://en.nagoya-u.ac.jp/about_nu/declaration/policy/index.html)

I. 出願資格

本プログラムに出願することができる者は、次のいずれかの出願資格を有する者とします。

1. 中等教育における最終 3 学年のうち 2 学年以上、主として外国の教育制度に基づく教育を受けている者であって、かつ以下の a~c のいずれかに該当するもの
 - a. 外国において学校教育における 12 年の課程【注1】(日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれる。)を修了(卒業)した者及び 2025 年 9 月 30 日までに修了(卒業)見込みの者、又はこれに準ずる課程で文部科学大臣の指定したもの【注2】
 - b. 国際バカロレア資格又はアビトゥア資格もしくはバカロレア資格ならびにジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格(GCEA レベル)を取得した者及び 2025 年 9 月 30 日までに取得見込みの者
 - c. 国際的な評価団体(WASC, ACSI, CIS*, NEASC)の認定を受けた学校【注3】に置かれる 12 年の課程を修了した者及び 2025 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
*CIS による認証が開始した 2003 年より前に ECIS の認定を受けた学校の教育課程を修了したのものについても入学資格が認められます。
2. 外国の教育制度において、12 年の課程修了と同等(またはそれ以上)の学力を有するかを測定する当該外国の国家統一試験等の検定試験や資格認定試験に合格した者、または 12 年の課程を修了したと認められた者で、2025 年 9 月 30 日までに 18 歳に達する者 *上記出願資格にて出願しようとする者は、[II.の出願要件](#)に加えて、検定試験等の統一試験の成績の提出を必須とする。
3. 上記の1.および2.のいずれにも該当せず、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 9 月 30 日までに 18 歳に達するもの【注4】(ただし、外国の学校教育制度に基づく教育機関において、最終 3 学年のうち、2 学年以上の教育を受けている者)

【注1】

「12年の課程」は、大学入学前までに12年の初等中等教育を受け(就学前教育を除く)、かつ当該教育課程修了と同時に当該外国における大学入学資格を得ることができる課程を指します。

【注2】

「これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」には、次のものが含まれます。

- a. 外国において高等学校に対応する学校の課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者
- b. 外国において高等学校に対応する学校の課程(以下の基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者で次の要件を満たすもの。
 - (1) 当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了した者
 - (2) 日本の大学に対応する当該外国の高等教育機関に入学することができる資格を与えられた者
 - (3) 修了した課程が、日本の高等学校の教科等に対応する(または相当する)教科等により編成される教育課程と認められること
- c. 我が国において高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされる者に限る。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設の当該課程を修了した者

詳細は、[X. 問い合わせ先](#)にご確認ください。

【注3】

当該学校がWASC, ACSI, CIS または NEASC の認定を受けている場合は、[出願資格 1.c.](#)を満たします。認定の有無を確認するには、以下のウェブサイトを参考にしてください。

WASC (Western Association of Schools and Colleges): <http://www.acswasc.org/>

ACSI (Association of Christian Schools International): <https://www.acsi.org/>

CIS (Council of International Schools): <http://www.cois.org/>

NEASC (New England Association of Schools and Colleges): <https://www.neasc.org/>

【注4】

上記3. の個別の入学資格審査にて出願しようとする者は、各募集区分出願開始の1ヶ月前までに名古屋大学国際入試係国際アドミッションオフィスに申し出て、所定の申請手続きを行ってください。

II. 出願要件

I.の出願資格を満たした上で、次のすべての要件を満たす者

1. 高等学校等で優秀な学業成績を修めたもの。
2. 英語以外を第一言語として教育する高等学校において教育を受けている者にとっては、[参考資料 1](#) の英語検定試験における要件を満たす試験結果を提出すること。ただし、英語を第一言語として高等学校の最終学年を含めた 4 年間(以上)継続して教育を受けた者は、英語検定試験の試験結果の提出を免除します。

III. 募集人員

1R : 1 次募集

2R : 2 次募集

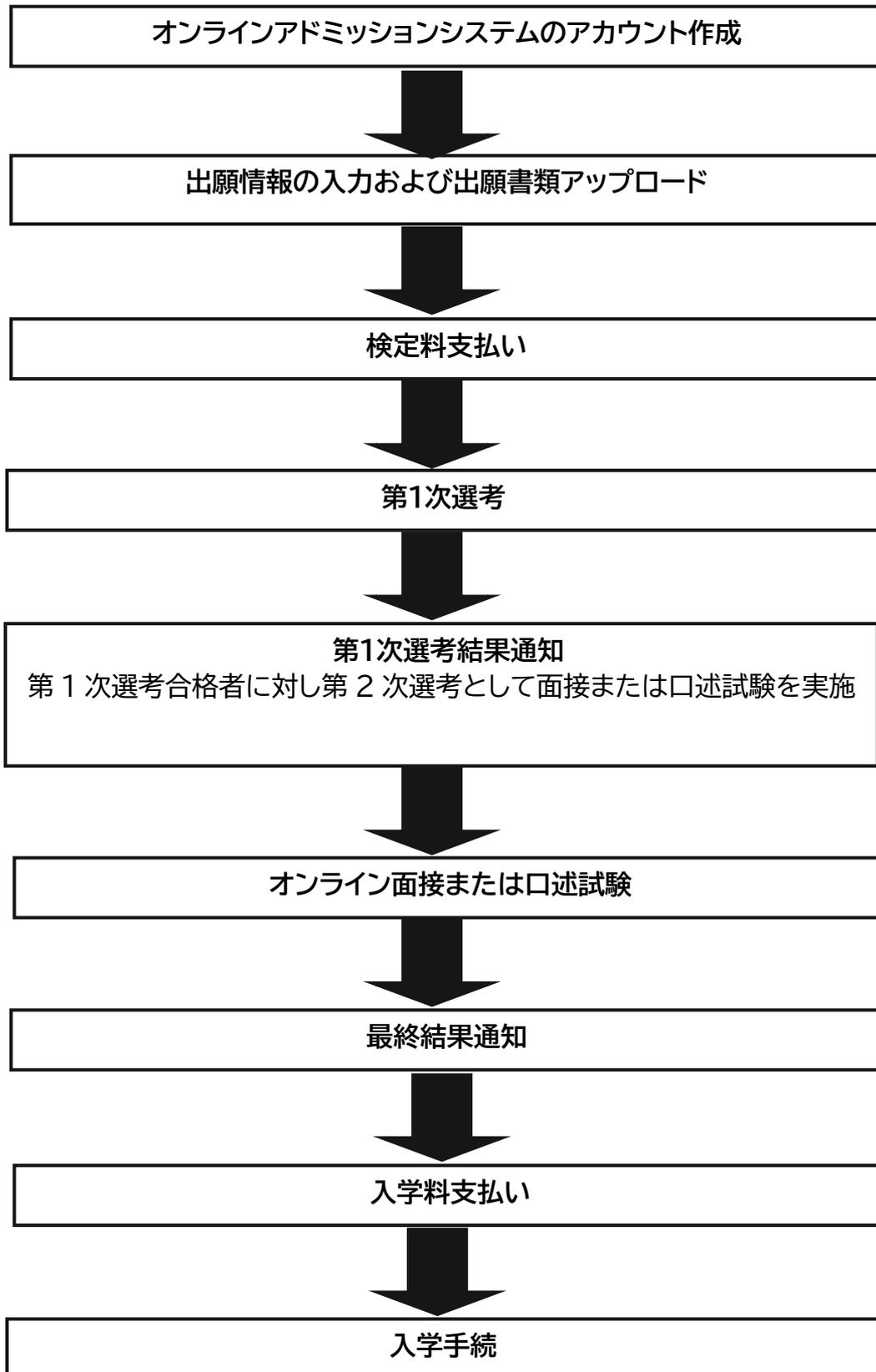
プログラム名	学部	募集人員
自動車工学プログラム	工学部（機械系）	若干名 1R 2R
	工学部（電気電子情報系）	若干名 1R 2R
物理系プログラム	理学部	若干名 1R 2R
化学系プログラム	理学部	若干名 1R
	工学部	若干名 1R 2R
生物系プログラム	理学部	若干名 1R
	農学部	若干名 1R 2R
国際社会科学プログラム	法学部	若干名 1R
	経済学部	若干名 1R
「アジアの中の日本文化」プログラム	文学部	若干名 1R

IV. 選考基準

名古屋大学国際プログラム群では、次の学力や学力以外の様々な項目に基づき、総合的に選抜を行います。

1. 高等学校における学業成績
2. 各種試験の成績
国家統一試験等の検定試験や資格認定試験、標準化テスト等([参考資料 3](#) およびホームページ参照)を受験している場合は、その成績
(出願にあたっての必須書類ではありませんが、これらの試験を受験することを強く推奨します。)
3. 希望する専攻分野での優秀な学業成績
4. 希望する専攻分野に関連して、特別に編成されたプロジェクトに参加した場合、その成果や秀でた結果
5. 日本語、日本文化コースを履修した場合、その科目や成績
6. 特異な才能, 実績, 褒賞等
7. 小論文の内容
8. 評価書
9. 面接・口述試験での評価

V. 出願手続



1. 出願期間

下記の出願期間中に、出願書類を提出し、検定料を支払ってください。

募集区分	自	至
第1次募集	2024年11月11日 9:00 (日本時間)	2024年12月10日 16:00 (日本時間)
第2次募集	2025年1月10日 9:00 (日本時間)	2025年1月31日 16:00 (日本時間)

出願可能プログラム

 : 1次募集
  : 2次募集

プログラム名	学部	募集人員
自動車工学プログラム	工学部（機械系）	若干名  
	工学部（電気電子情報系）	若干名  
物理系プログラム	理学部	若干名  
化学系プログラム	理学部	若干名 
	工学部	若干名  
生物系プログラム	理学部	若干名 
	農学部	若干名  
国際社会科学プログラム	法学部	若干名 
	経済学部	若干名 
「アジアの中の日本文化」プログラム	文学部	若干名 

【注】

- (1) 異なるプログラムであっても、同年度では1度の出願しか認められません。
- (2) 化学系プログラム(理学部), 生物系プログラム(理学部), 国際社会科学プログラム及び「アジアの中の日本文化」プログラムは、2次募集は行いません。
- (3) 各募集の出願終了時刻より前に検定料全額が支払われなかった場合、選考の対象とはなりません。
検定料を銀行送金で支払った場合、送金日時が明記された領収書を必ず提出してください。送金完了日時は各募集期間の終了時刻より前である必要があります。出願終了時刻までに領収書をオンラインアドミッションシステムにアップロードしてください。
不足書類がある場合は書類不備とみなし出願は認められません。次ページからの[提出書類一覧](#)をご確認ください。
- (4) 検定料の支払いや志願票等の記入に疑問点等がある場合には、オンラインアドミッションシステムを通じてご連絡ください。また、国際アドミッションオフィスからの連絡は、オンラインアドミッションシステムでお知らせします。

2. 検定料の支払い及び出願書類提出方法

出願に当たっては、指定の方法に従って必要書類を提出し、検定料の支払いを締切日までに行ってください。書類作成の際には、表下にある【注】に留意してください。なお、出願書類に不備等があるかどうかのチェックは、検定料の支払いを確認した後に行われますので、早めの検定料支払いを推奨します。

<検定料支払い方法>

検定料:5,000円

オンラインアドミッションシステム(推奨)又は銀行送金でお支払いください。

なお、検定料は、出願書類受領後の書類確認、選抜等のためのものであり、いったん大学に納入された検定料は返還しません。また、検定料の振込み手数料は振込者負担となります。

ただし、以下に該当する場合で、出願者から申し出があった場合には、納入された検定料を返還します。なお、返還にかかる振込手数料は差し引かせていただきます。詳細については、国際アドミッションオフィス宛にお問い合わせください。

- ア 検定料を二重に払い込んだ場合
- イ 出願締切後に検定料を払い込んだ場合

<出願書類の提出>

第1次選考:

1. 以下の出願書類を各募集区分の出願期間中にオンラインアドミッションシステムにアップロードして提出してください。
オンラインアドミッションシステムはG30ウェブサイトのページで確認してください。
<https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/admissions/undergraduate/>
2. 当該外国の学校制度・教育課程において、国家統一試験等の検定試験や資格認定試験がある場合には、必ずその成績を提出してください。検定試験等の詳細は下記リンクから Country-Specific Qualifications and Recommended Documents の PDF で確認してください。
<https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/wp-content/uploads/2023/09/Guidelines-for-Country-Specific-Qualifications-and-Recommended-Documents-1.pdf>

第2次選考:

1. 第1次選考に合格した出願者は、以下の[提出書類一覧表](#)で定める原本を指定期日までに提出してください。原本の提出方法は、上記リンクの Country-Specific Qualifications and Recommended Documents の PDF で確認してください
2. 原本は締切日まで受付可能ですが、指定期日までに原本が提出されない場合には、本学への入学を辞退したものと取り扱います。また、オンラインアドミッションシステムで提出された書類と郵送で提出された原本に、不正とみなされる差異が見つかった場合も、第2次選考対象者としての取扱いが受けられません。
3. 原本は、在学する高等学校を通じて g30ug-app@t.mail.nagoya-u.ac.jp 宛にメールで提出することを推奨します。
メールでの提出が難しい場合には、郵送で提出することも可能です。

原本の提出期限は[VI. 選抜方法 3](#) で確認してください。

提出先:

G30 国際アドミッションオフィス

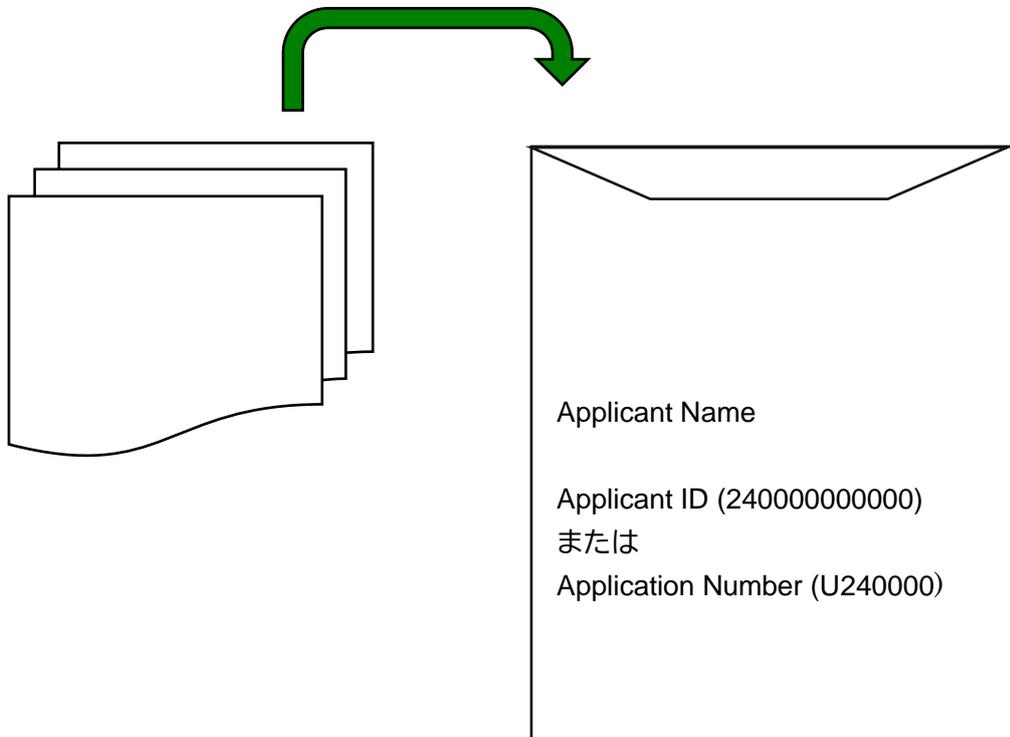
E-mail: g30ug-app@t.mail.nagoya-u.ac.jp (書類受付専用)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 国際入試係

Tel: +81-52-747-6556

【注】

郵送の場合は, U から始まり 6 桁の番号が続く受験番号(もしくは 12 桁の出願者 ID)と出願者の氏名を封筒に記載してください。



<提出書類一覧>

* = 原本を第 1 次選考合格後に提出すること([VI. 選抜方法](#))

志願票

本学オンラインアドミッションシステムから提出してください。

<https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/admissions/undergraduate/>

*高等学校の卒業(修了)証明書(見込証明書)

証明書(見込証明書)には、学校の公印、もしくはサインが必要です。

出願時に高等学校に在学している場合には、卒業見込証明書を提出してください。証明書の様式はオンラインアドミッションシステム又は G30 ウェブサイトからダウンロード可能です。学校が発行する証明書がある場合には、本学の様式を使用する必要はありません。英語以外の言語で書かれている場合は、原本に加え公に認証された英訳文を添付してください。

*学業成績証明書及び国際検定試験・国家統一試験等の成績

学業成績証明書には、高等学校の公印、もしくはサインが必要です。

高等学校の直近2年間またはそれ以上の期間の成績を提出してください。成績評価基準がある場合は併せて提出してください。英語以外の言語で書かれている場合は、原本に加え公に認証された英訳文を添付してください。当該外国の学校制度・教育課程や国際教育カリキュラムに応じて必要な提出書類が異なります。高等学校の成績証明書に加え、必要書類を提出してください。詳細は必ず下記リンクの Country-Specific Qualifications and Recommended Documents の PDF で確認してください。

<https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/wp-content/uploads/2023/09/Guidelines-for-Country-Specific-Qualifications-and-Recommended-Documents-1.pdf>

[I. 出願資格 1b または 2](#) に該当する場合には、国際検定試験や国家統一試験等の成績を必ず提出してください。

*英語資格試験の成績通知書

英語資格要件を満たすことを証明する英語資格試験の成績通知書を提出してください。(参考資料 1 を参照してください。)

英語を第一言語として、高等学校の最終学年を含めた 4 年間(以上)継続して教育を受けた者は、英語検定試験の試験結果の提出を免除しますが、中・高等学校における第一言語が英語であることを証明する書類を提出してください。例えば、卒業見込証明書に、第一言語が英語である旨の記載がある場合には、英語資格試験の成績通知書に代えることができます。本学の様式を使用する場合は、G30 ウェブサイトから様式をダウンロードの上、当該

学校における第一言語が「英語」と書かれたものを英語資格試験の成績証明書に代えて提出してください。
オンラインアドミッションシステムから提出する英語資格試験の成績通知書は、スコアと受験者の氏名が同時に確認できるもの(オフィシャルスコアのコピーまたは、WEB上で確認できる自身のスコア)を提出してください。
第1次選考を通過した場合には、必ず締切日までに、テスト実施機関から本学宛にオフィシャルスコアが直接届くよう手続きをしてください。スコアレポートは紙、電子媒体のどちらで提出しても同等に取り扱われます。スコアレポートが到着するまで時間がかかる場合があるので、余裕をもって提出してください。名古屋大学国際プログラム群の機関コードは、次のとおりです。

TOEFL: 7256(Nagoya University)

(注)上記コードを入力すると、大学院プログラムが表示される場合がありますが、いずれのプログラムを選択してもスコアはすべて国際アドミッションオフィス宛に送付されます。

IELTS: Nagoya University International Programs

Duolingo English Test: Nagoya University Undergraduate Admissions

なお、すべての試験において、2022年12月以降に受験した試験のスコアのみを有効とします。

*標準化テストの成績評価証明書

SAT や ACT, 日本留学試験(EJU)等の標準化テストを受験している場合は、その試験結果証明書を提出してください。提出は任意ですが、これらの試験を受験することを強く推奨します。

第1次選考を通過した場合には、必ずテスト実施機関より締切日までにオフィシャルスコアが直接届くように手続きをしてください。スコアレポートは紙、電子媒体のどちらで提出しても同等に取り扱われます。スコアレポートが到着するまで時間がかかる場合があるので、余裕をもって提出してください。

名古屋大学国際プログラム群の機関コードは、次のとおりです。

SAT 及び AP: 6535

ACT: 5480

*各プログラムの、各種試験における受験推奨科目を、[参考資料 3](#)にて確認してください。

*オンラインアドミッションシステムから提出する成績評価証明書は、スコアと受験者の氏名が同時に確認できる次のいずれか(オフィシャルスコアのコピーまたは、WEB上で確認できる自身のスコア)を提出してください。

- オフィシャルスコアのスキャン
- WEB ページのスクリーンショット(受験者のフルネームとスコアが確認できるもの)
- スコアが確認できる WEB ページを表示した PC のスクリーンの横に受験者の身分証を並べて撮影した写真

小論文

募集要項巻末の「[Essay Questions](#)」にある2つのテーマについて、WORD形式で作成し(英語で指定の文字数)、PDFに変換したものをオンラインアドミッションシステムにアップロードして提出してください。

*オンラインアドミッションシステム上でダウンロードしたテンプレートを使用することを推奨します。

評価書 2 通

次の要件を満たす評価者 2 名を通じて評価書を提出してください。原則として、評価書は、評価者が在職する高等学校のレターヘッドを使用し、評価者が署名又は捺印したものを、a.オンライン(推奨)で提出、又は b. 厳封して評価者から直接本学に郵送してください。

【評価者の要件】

評価者のうち1名は志望する専門分野に関連する高等学校の教員(推薦者 A)、もう 1 名は人物評価ができる高等学校の教員もしくはカウンセラー(推薦者 B)であること。評価者は、公的に認可されている学校等の教育機関に勤めている教員またはカウンセラー(推薦者 B のみ)で志願者を指導している(た)者に限ります。

なお、物理系プログラムを志望する場合には、Confidential Physics Learning Checklist も併せて提出してください。様式は、G30ウェブサイトからダウンロードできます。

親戚や友人、同僚や塾の先生などからの評価書は受け付けません。推薦者 A に関する科目要件は[参考資料 2](#)で確認してください。

【提出方法】

a. オンライン(推奨)

志願者は、オンラインアドミッションシステムの「Information of Referees」のページで評価者 2 名の e-mail address を入力してください。入力完了後、システムから自動的に評価者宛にメールが届きます。オンラインアドミッションシステムに登録する評価者の e-mail address は、可能な限り評価者が勤務している学校が発行したものをを使用することを推奨します。フリーメールやプロバイダメール等、個人の e-mail address を入力した場合、セキュリティ上の制限で、システムからメールが受け取れないことがあります。

システムからメールが届かない場合、迷惑メールフォルダに振り分けられている可能性がありますので、迷惑メールフォルダを確認してください。システムからメールが届いていない場合、評価者は出願期間内に下記 e-mail address 宛てに直接評価書を送付してください。その場合は、12 桁の出願者 ID(もしくはUから始まる受験番号)と出願者の氏名をメールの件名に記載してください(例「Reference Letter_Applicant ID_Applicant Name_2025」)。

Email to: g30ug-app@t.mail.nagoya-u.ac.jp

b. 郵送

システムを使用せず郵送で提出する場合は、署名又は捺印した評価書を厳封の上、郵送してください。その場合は、12桁の出願者ID(もしくはUから始まる受験番号)と出願者の氏名を封筒に記載してください。

郵送先:

G30 国際アドミッションオフィス
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 国際入試係
Tel: +81-52-747-6556

その他アピールできる点に関する書類

[IV. 選考基準](#)の3.~6.に当てはまる書類がある場合はオンラインアドミッションシステムにアップロードして提出してください。英語以外の言語の場合は英訳文を添付してください。

高校卒業後に大学等の高等教育機関に進学した場合は、次の書類を併せて提出することを推奨します。但し、提出は任意です。

- 大学の在学証明書 及び 入学後～現在までの成績の提出

国籍を確認できるもの

顔写真, 名前(フルネーム), 国籍, 生年月日を含む公的な身分証明書をオンラインアドミッションシステムにアップロードしてください。例えば、パスポートや政府発行のIDのコピー(英語で作成されたものとし、英語以外の場合は英訳文を添付してください。)です。日本国内に住んでいる外国籍の方は、在留カード両面のコピーを併せて提出してください。

日本以外の国籍として出願する場合であっても、日本の国籍を有している者は、日本のパスポートのコピーを併せて提出してください。

経費支弁者の収入証明書

本プログラムに出願した時点で、自動的にG30奨学金への申請者としてみなします。経費支弁者の収入証明書をオンラインアドミッションシステムにアップロードして提出してください。

- 所得証明書, 課税証明書, 非課税証明書, 等
- 給与明細(12ヶ月分)または年俸額が記載された雇用証明書
- 銀行が発行する残高証明書

経費支弁者(複数人いる場合にはそれぞれ)の収入証明書は、最低1年間の収入が含まれている必要があります。必ず英訳文も提出してください。

なお、G30奨学金への申請を希望しない場合には提出は不要です。

【注】

- (1) 検定料の支払い及び出願書類全てを各募集区分の出願期限までに受領した場合のみ、出願を認めます。出願書類を郵送する際は、国際速達郵便又はそれと同等の国際宅配便(例えば、Federal Express, DHL, UPS, 等)により送付することを推奨します。なお、提出された書類等に不備がある場合には、出願が認められません。また、提出後の出願書類の変更は認めません。
- (2) 学校等の教育機関や公的機関(以下「学校等」と言う)は、英語以外の言語で作成された全ての書類を英語に翻訳し、原本と同じであることを保証する必要があります。学校等がこれを行わない場合は、外部の公証人(機関)に依頼して翻訳・確認し、その書類が、原本と同じであることが保証されている必要があります。出願者本人が翻訳したものは認められませんのでご注意ください。翻訳前の元の書類(原本)と同等性が保証された翻訳書類の両方を提出してください。
- (3) 各種証明書において、科目名、成績評価等が符号、略字等により表示されている場合は、説明書を添付してください。
- (4) 出願書類を郵送する場合は、ホチキス止めをしないで提出してください。
- (5) いったん受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- (6) 次のような偽造書類は重大な不正行為とみなし、それが判明した時点で、出願資格が喪失します。また、最終結果後であっても、合格や入学許可の取り消し、卒業生にあっては授与した学位のはく奪等、厳正に対処します。
 - 出願書類の偽造、捏造
 - 出願書類に虚偽の記載をした場合(記載すべき事項を記載しなかった場合も含む)
 - 出願書類の改ざん
 - 高等学校の教員やカウンセラーになりすまし評価書を提出すること
- (7) 検定料を受け取ったことをオンラインアドミッションシステムのメッセージ機能でお知らせします。もし連絡がない場合は、国際アドミッションオフィス([X. 問い合わせ先](#))までメールで知らせてください。

2. 障害のある者等の出願

障害のある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、出願書類を提出する前に相談してください。(提出書類は英語で作成すること)

(1) 相談の時期

2024年11月11日まで

(2) 相談先

名古屋大学国際アドミッションオフィス

(3) 相談の方法

以下の3点の書類を提出してください。

- 1) 出願予定のプログラム、志望学部、障害等の状況、希望する受験上の配慮事項等に志願者本人の連絡先を記載したもの(様式は自由、用紙はA4サイズ)
- 2) 障害等に関する医師の診断書又は、ソーシャルワーカーの意見書など。(いずれもコピー可)又は身体障害者カード等それに準ずるもののコピー。
- 3) 出身学校関係者の添え書(学校における修学状況及び学習上の配慮状況等を記載したもので、様式は自由、用紙はA4サイズ)

(4) その他

受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願締切期限までに国際アドミッションオフィスにお問い合わせください。

3. その他

入学試験に関する照会は、照会者本人のメールアドレス、氏名を明記し、国際アドミッションオフィス([X. 問い合わせ先](#))まで連絡してください。

VI. 選抜方法

1. 入学者の選抜は、第1次選考及び第2次選考により行います。

第1次選考:

第1次選考は、提出された出願書類を総合的に評価して選抜を行います。

なお、第1次選考に合格した者は指定された必要書類の原本(<[提出書類一覧](#)>参照)を原本提出期限までに提出する必要があります。

第2次選考:

面接 第1次選考合格者に対し、Zoom又は他の Voice over Internet Protocol を利用して面接または口述試験を実施し、最終合格者を決定します。

口述試験 理系プログラムでは、志望するプログラムに関する科目の試問を行います。

数学及び自然科学分野、具体的には化学、生物、物理等の科目から出題されます。[参考資料 3](#)に記載された推奨科目を復習の上、口述試験に臨んでください。

数学においては、G30 プログラムのウェブサイトで公開している Pre-College Mathematics (Class Materials)レベルの試問を行うので、各単元の内容をよく理解しておいてください。

<https://ocw.nagoya-u.jp/en/courses/0516-Pre-college-Mathematics-Optional-subject-2015/>

2. 第1次選考結果は、下記の表にある期日にオンラインアドミッションシステムで発表します。第2次選考に関する必要事項等も併せて連絡しますので、必ずシステム上で通知を確認してください。システム上で選考結果を確認できない場合や、第1次選考に合格したにも関わらず第2次選考の案内が届かない場合は、国際アドミッションオフィス([X.問い合わせ先](#))までお知らせください。
3. 第2次選考が実施される日時・方法等は、第1次選考結果とともにオンラインアドミッションシステムで通知しますので、発表日に必ず確認してください。指定された期日までに第2次選考の出席回答が無い場合は、辞退したものとして扱われる可能性があります。
実施日は、下記の表の期間内です。

	1次募集	2次募集
第1次選考結果通知日	2025年2月5日	2025年3月28日
第2次選考期間	2025年2月13日~3月6日	2025年4月8日~4月25日
原本の提出締切日 (第1次選考に合格した者)	2025年3月6日16:00 (日本時間)	2025年4月25日16:00 (日本時間)

【注】

第1次選考合格者で、指定期日までに原本が届かない場合には、本学への出願を辞退したものと取り扱いません。

VII. 合格者発表

下記の表にある期日に、オンラインアドミッションシステムで発表します。また、合格者には、合格通知も併せて送付します。

なお、ウェイトリスト者についても、オンラインアドミッションシステム上で該当者に通知します。

募集区分	プログラム名	学部	選考結果通知期日
1次募集	自動車工学プログラム 化学系プログラム	工学部	2025年3月13日
	生物系プログラム	農学部	
	「アジアの中の日本文化」プログラム	文学部	
	物理系プログラム 化学系プログラム 生物系プログラム	理学部	2025年3月19日
	国際社会科学プログラム	法学部 経済学部	
2次募集	出願可能な全てのプログラム		2025年5月12日

VIII. 入学手続き

入学手続きに関しては、合格発表後にオンラインアドミッションシステム上でお知らせします。

1. 入学料の振り込み

入学料(282,000 円)は、オンラインアドミッションシステム上の通知を参照の上、下記の表の期限までにオンラインアドミッションシステム(推奨)又は銀行送金でお支払いください。振込み手数料は振込者負担となります。なお、合格者のうち名古屋大学 G30 奨学金受給候補者に選ばれた者の入学料の払込期限は、下記の通り、非受給者の払込期限より早めの設定期限となりますので、本学からの通知文書をよく確認し、その指示に従って納入してください。

募集区分	G30 奨学金	払込期限
1 次募集	受給候補者	2025 年 4 月 3 日 16:00 (日本時間)
	非受給者	2025 年 4 月 24 日 16:00 (日本時間)
2 次募集	受給候補者	2025 年 5 月 29 日 16:00 (日本時間)
	非受給者	2025 年 6 月 5 日 16:00 (日本時間)

【注】

- (1) 所定の期限までに入学料が払い込まれない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱いますので、十分注意してください。入学時までに入学料の改定が行われた場合には、新たな入学料額が適用されます。
- (2) 納入済みの入学料は返還しません。ただし、以下に該当する場合で、出願者から申し出があった場合には、納入された入学料を返還します。なお、返還にかかる手数料は差し引かせていただきます。詳細については、国際アドミッションオフィス宛にお問い合わせください。
 - ア 入学料を二重に払い込んだ場合
 - イ 期限後に入学料を払い込んだ場合
- (3) いかなる理由でも、入学の権利を次年度に持ち越すことはできません。

2. その他入学料以外の学生納入金(入学後に支払・予定額)

プログラム名	授業料	学生教育研究災害傷害保険料 (※は学研災付帯賠償責任保険を含む。)
自動車工学プログラム 物理系プログラム 化学系プログラム 生物系プログラム 国際社会科学プログラム(経済学部)	前期分 267,900 円 年 額 535,800 円	※4,660 円
国際社会科学プログラム(法学部) 「アジアの中の日本文化」プログラム		3,300 円

【注】

- (1) 入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料額が適用されます。
- (2) 授業料は、入学後に所定の方法により納入してください。
- (3) その他、入学に必要な手続の詳細は、入学料納入後、7月上旬にオンラインアドミッションシステム上でお知らせする入学手続要領を参照してください。

3. 出願時に高等学校を卒業(修了)見込みの志願者に対する注意

高等学校に相当する学校を卒業(修了)見込みの志願者は、2025年8月1日までに、卒業(修了)証明書、国際検定試験や国家統一試験等の成績通知書、最終学業成績証明書の原本を名古屋大学の国際アドミッションオフィスに提出してください。

もし、締切日までにこれらの書類を提出することができない場合は、事前にアドミッションオフィスへ連絡してください。もし、これらの書類が期日までに国際アドミッションオフィスに到着しない場合には、入学する権利が消失します。

IX. その他

1. 出願後に現住所や e-mail address を変更した場合は、速やかに国際アドミッションオフィスまで届け出てください。
2. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「東海国立大学機構個人情報保護規程」に基づき、適切に管理します。
3. 出願時に得た住所、氏名、生年月日、その他の個人情報については、入学者選抜、合格者発表、入学手続業務を行うために利用します。
4. 出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の資料の作成のために利用します。また、入学者についてのみ、教務関係(学籍・修学指導等)、学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
5. 募集要項中に記載されている日時は、いずれも日本標準時 JST(UTC+9:00 時間)とします。

X. 問い合わせ先

オンラインアドミッションシステム(T-cens)のアカウント作成に際して不明な点があれば、下記までご相談ください。なお、オンラインアドミッションシステムで既にアカウントを作成している場合は、オンラインアドミッションシステムのメッセージ機能から問い合わせください。

G30 国際アドミッションオフィス

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 国際入試係

Tel: +81-52-747-6556

E-mail: apply@g30.nagoya-u.ac.jp

但し、出願書類の提出先は E-mail: g30ug-app@t.mail.nagoya-u.ac.jp (受付専用)

参考資料 1

英語出願資格一覧(出願要件Ⅱ.2)

List of English Qualifications (Application Requirements II. 2)	
English Language Proficiency Test	Qualification (Minimum)
TOEFL	iBT 80, Paper-delivered Test 60 *TOEIC, TOEFL ITP is not accepted
IELTS	Overall Band 6 or higher
Duolingo English Test	110 and above
ACT English Score	21 and above
Common European Framework of Reference for Languages: CEFR	C1 and above
SPM English Language 1119	C and above
Malaysian University English Test (MUET)	Band 4 and above (minimum aggregate score: 180-219)
TEPS (Korea)	Score of 566 and higher
Taiwan General English Proficiency Test (GEPT)	Advanced
Australian State or Territory High School Certificate* Examination- Grade 12 English	80% or equivalent
Scottish Certificate of Education Standard and High Grade English (UK)*	C and above
European Baccalaureate (EP Diploma) English	6.5 and above
Pearson English Language Test PTE Academic	55 and above
Examination for the Certificate of Proficiency in English (ECPE)	PASS and above

(次頁へ続く)

List of English Qualifications (Application Requirements II. 2)

IGCSE/GCSE/GCE O-Level English	
First Language	C and above, 4 and above
Second Language	B and above, 5 and above
GCE AS or A-Level English *Also applies to Singapore and Sri Lanka	E and above
Cambridge English	
Advanced (CAE)	C and above
Proficiency in English (CPE)	Level C1 above
International Baccalaureate	
IB English B (HL)	4 and higher
IB English B (SL)	5 and higher
IB English A: Language and Literature (SL or HL)	4 and higher
IB English A: Literature (SL or HL)	4 and higher
IB English Literature and Performance (SL)	4 and higher
SAT	
SAT Essay before March 2016	8 or higher
New SAT Essay *until discontinuance	15 or higher
American College Board (AP)	
AP English Language and Composition	4 or higher
AP Literature and Composition	4 or higher

(次頁へ続く)

List of English Qualifications (Application Requirements II. 2)

Canadian Grade 12 courses*	
i. English 4U (Ontario)	
ii. English 12 (British Columbia, Yukon and Nova Scotia)	
iii. English Language Arts 30-1 or English 30 (Alberta, NWT, Nunavut)	
iv. English 40S (Manitoba)	
v. English A30 and English B30 (Saskatchewan)	
vi. English 121 or 122 (New Brunswick)	
vii. English 3201 (Newfoundland and Labrador)	
viii. Academic English ENG611 or ENG621 (Prince Edward Island)	
National Certificate of Educational Achievement (NCEA) *	
*Literacy credits will be selected from a schedule of approved achievement standards and unit standards.	
English - 4 credits must be in Reading and 4 credits must be in Writing.	“Achieved” (A) in a minimum of 8 credits at level 3 or higher
Hong Kong	
i. HKDSE English	i. Level 3 and above
ii. HKALE Use of English	ii. Grade E

【注】

*これらの国のカリキュラム(Australia, Canada, New Zealand and Scotland)における第二外国語としての英語(ESL)は英語出願資格として受け付けません。

その他上記と同等以上の英語能力があることを証明する成績証明書がある場合は、出願受付開始の1ヶ月前までに国際アドミッションオフィスにメールにて確認してください。

参考資料 2

プログラム別の推薦者 A の科目要件

Requirement for Referee A		
プログラム	学 部	推薦者Aの 科目要件
自動車工学	工学部(機械系)	数 学
		物理学
	工学部(電気電子情報系)	数 学
		物理学
物理系	理学部	数 学
		物理学
化学系	工学部	数 学
		物理学
		化 学
	理学部	数 学
		物理学
		化 学
生物系	理学部	生物学
		化 学
	農学部	生物学
		化 学
国際社会科学	法学部	指定なし
	経済学部	指定なし
アジアの中の日本文化	文学部	指定なし

参考資料 3

一般的な大学入学要件に加え、各プログラム別の要件国家試験等の統一試験等の受験推奨科目

一般的な大学入学要件に加え、各プログラム別の要件国家試験等の統一試験等の受験推奨科目						
プログラム	学部	国際バカロレア	アメリカ	イギリス	その他	日本留学試験 (EJU)
自動車工学プログラム	工学部	数学 AA 及び物理 (HL レベル)	AP微積 (AB又はBC) 及び AP物理 (1,2 又はC)	数学及び物理 (Aレベル)	数学及び物理	数学(コース2) 及び 物理
物理系プログラム	理学部	数学 AA 及び 物理又は化学又は 生物 (HLレベル)	AP微積 (AB又はBC) 及び AP物理 (1,2 又はC) 又は AP化学又はAP生物	数学及び 物理又は化学又は生物 (Aレベル)	数学及び 物理又は化学又は 生物	数学(コース2) 及び 化学又は物理又は 生物
化学系プログラム	理学部	数学 AA 及び 物理又は化学又は 生物 (HLレベル)	AP微積 (AB又はBC) 及び AP物理 (1,2 又はC) 又は AP化学又はAP生物	数学及び 物理又は化学又は生物 (Aレベル)	数学及び 物理又は化学又は 生物	数学(コース2) 及び 化学又は物理又は 生物
	工学部	数学 AA 及び 物理又は化学 (HLレベル)	AP微積 (AB又はBC) 及び AP物理 (1,2 又はC) 又は AP化学	数学及び 物理又は化学 (Aレベル)	数学及び 物理又は化学	数学(コース2) 及び 化学又は物理
生物系プログラム	理学部	生物又は化学又は 物理 (HLレベル)	AP生物又はAP化学又は AP物理 (1,2 又はC)	生物又は化学又は物理 (Aレベル)	生物又は化学又は 物理	数学(コース2) 及び 生物又は化学又は 物理
	農学部	生物又は化学 (HLレベル)	AP生物又はAP化学	生物又は化学 (Aレベル)	生物又は化学	数学(コース2) 及び 生物又は化学
国際社会科学プログラム	法学部 経済学部	募集要項記載の要件の他、科目指定なし				総合科目及び数学 (コース1)
「アジアの中の日本文化」プログラム	文学部					

Essay Questions for Applications to Nagoya University International Programs (Undergraduate) Academic Year 2025

Instructions

- **All applicants must submit two essays.**
- All questions are to be answered by the candidate only. You may be asked about your answers if you are selected for an interview.
- Essay 1 is compulsory for all candidates.
- Essay 2 is also compulsory for all candidates, but you are to answer the question specific to the program you are applying to.
- Be sure to indicate the word count written at the bottom of each essay.
- Please make sure to use the template provided in the Online Admission System.
- If you add citations to your essay, remember to list your sources in a reference list at the end of your essay. The correct usage of proper citations and references will help your essay to be more highly evaluated.
- The reference list is not calculated towards the word count.
- According to Nagoya University's regulations, the use of generative AI tools to create text or any other content including essays, as part of application documents, is prohibited. Note that we run all essays through an AI detection program.

1. **Essay No. 1 – Answer the following question (200-300 words).**

As briefly and clearly as possible please explain why you are applying to a particular program at Nagoya University and how it is related to your academic history and your personal and professional future goals.

2. **Essay No. 2 – Answer one of the following questions* (400-500 words).**

*Please choose an essay topic based on your **program choice**

Automotive Engineering (School of Engineering, Mechanical Engineering Course)
--

Explain why you are a strong candidate for the Automotive Engineering program at Nagoya University.

Automotive Engineering (School of Engineering, Electrical, Electronic, Information Engineering Course)

Identify a major breakthrough in electrical, electronic, or information technology. Analyze the positive societal impact and potential drawbacks of this innovation based on your personal experience.
--

Physics (School of Science)

Within the past 150 years, what would you consider the most significant breakthrough in physics or astronomy? Explain why you think it is important and give a brief explanation of the physics or math behind it.

Chemistry (School of Engineering)

Explain how a meaningful experience influenced your choice to study chemistry and biotechnology.

Chemistry (School of Science)

As a fourth-year G30 chemistry student, your task is to choose a lab for your thesis work. You can choose from labs in Biochemistry, Organic Chemistry, Physical Chemistry, and Inorganic and Analytical Chemistry. Select a lab and provide reasons for your choice based on your academic interests and its potential impact on your future goals mentioned in Essay 1.

Biological Science (School of Science)

Select a biology question you would like to explore through research at Nagoya University and outline your strategy for solving it.

Biological Science (School of Agricultural Sciences)

What makes studying biology in the context of agriculture and life sciences important? Select a specific societal problem and describe how you plan to address it using the skills and knowledge you will acquire during your university education.

Social Sciences (School of Law)

Under usual circumstances, parties to a sales contract should perform whatever obligations they have under the contract: a buyer should pay the specified purchase price and the seller should deliver the goods in return. However, most jurisdictions admit some exceptions to this basic norm. One such exception is a rule that allows one party to demand modifications to the original contract when there is a fundamental change to the facts on which both parties initially relied. In the following two situations, do you think the sellers should be able to demand a modification of the original contract? Explain the differences between the two situations and how the differences affect (or do not) the conclusions in both cases. You do not have to discuss how the cases are solved under the law of a particular jurisdiction. Further, do you think a government should provide methods for covering these risks to private parties? Discuss your opinion based on what a modern government should offer to its citizens regarding risks in economic activities.

1) A seller S1 and a buyer B1 agreed to a sales contract under which S1 sells the product P1. S1 has its office in country CS, and B1 has its office in country CB. The sales price is provided in dollars. After the contract was formed but before the due date for delivery of P1 and of payment, the currency of CS suddenly rose by 20% against the dollar. Because S1 would receive less in currency CS than S1 expected, S1 wants B1 to pay more than what was agreed in the contract.

2) The seller S2 and the buyer B2 agreed to a sales contract under which S2 sells the product P2. After the parties had contracted, the price of an essential ingredient of P2 increased by 30% due to an unexpected military conflict in a far-off country where the ingredient is produced. Because the cost for S2 to manufacture P2 increased by 17% compared to the time they contracted, S2 wants B2 to pay more.

Social Sciences (School of Economics)

Consider a particular incident from your past involving an economic challenge. Detail the problem and discuss how it sparked your curiosity in economics and influenced your perspectives. Explain how your personal experience will help you further study economics at Nagoya University.

Japan-in-Asia Cultural Studies Program (School of Humanities)

Our program focuses on literature, film, and history. Discuss how they are like stories, and what makes them similar and different as narratives.

出願に関するスケジュール Application Process Flow Overview

事柄 Items	期間又は締切日 Period or Deadline	募集(一次募集, 二次募集) Round
出願期間 Application Periods	2024年11月11日9:00 ～12月10日16:00	一次募集, 全てのプログラム First Round: All Programs
	2025年1月10日9:00 ～1月31日16:00	二次募集, 理系プログラムのみ(生物系プログラム(理学部)及び化学系プログラム(理学部)を除く) *Second Round: Only Science, Engineering, and Agricultural Sciences except for Biological Science Program (School of Science) and Chemistry Science Program (School of Science)
出願締切 Application Deadline	2024年12月10日16:00	一次募集, 全てのプログラム First Round: All Programs
	2025年1月31日16:00	二次募集, 理系プログラムのみ(生物系プログラム(理学部)及び化学系プログラム(理学部)を除く) *Second Round: Only Science, Engineering, and Agricultural Sciences except for Biological Science Program (School of Science) and Chemistry Science Program (School of Science)
第1次選考結果通知日 Primary Screening Results	2025年2月5日	一次募集, 提出された書類を総合的に評価 First Round: Holistic review of application documents
	2025年3月28日	二次募集, 提出された書類を総合的に評価 Second Round: Holistic review of application documents
第2次選考期間 Secondary Screening Period	2025年2月13日～3月6日	一次募集, 面接・口述試験で試問 First Round: Interview or oral examination
	2025年4月8日～4月25日	二次募集, 面接・口述試験で試問 Second Round: Interview or oral examination
原本の提出締切日 Submission of original/certified true documents	2025年3月6日16:00	一次募集, 第1次選考に合格した者 First Round: Applicants who passed the first screening
	2025年4月25日16:00	二次募集, 第1次選考に合格した者 Second Round: Applicants who passed the first screening

合格者発表 Announcement of Admissions Results	2025年3月13日	一次募集:自動車工学プログラム, 化学系プログラム(工学部), 生物系プログラム(農学部), 「アジアの中の日本文化」プログラム First Round: Automotive Engineering, Chemistry (School of Engineering), Biological Science (School of Agricultural Sciences), Japan-in-Asia Cultural Studies
	2025年3月19日	一次募集:物理系プログラム(理学部), 化学系プログラム(理学部), 生物系プログラム(理学部), 国際社会科学プログラム First Round: Physics (School of Science), Chemistry (School of Science), Biological Science (School of Science), Social Sciences (Economics, Law)
	2025年5月12日	二次募集:出願可能な全てのプログラム Second Round: All Available Programs
入学手続き, 入学料の振り込み Registration Fee Payment Deadline: Enrollment Decision	2025年4月3日16:00	一次募集, G30 奨学金受給候補者 First Round: G30 Scholarship Nominees
	2025年4月24日16:00	一次募集, G30 奨学金非受給者 First Round: Non-G30 Scholarship Nominees
	2025年5月29日16:00	二次募集, G30 奨学金受給候補者 Second Round: G30 Scholarship Nominees
	2025年6月5日16:00	二次募集, G30 奨学金非受給者 Second Round: Non-G30 Scholarship Nominees
留学ビザ・入学手続き Enrollment Procedures	入学料支払い後	共通 All rounds
入学手続き案内 Enrollment Instructions	7月上旬	共通 All rounds
名古屋大学への到着 Arrival at Nagoya University	9月中旬	共通 All rounds
学期開始 Classes commence	2025年10月1日	全ての新生 All students
G30 新生入学式 G30 Enrollment Ceremony	2025年10月1日	全ての新生 All students

*全ての時間は日本時間で記載されています。
 All times indicated refer to Japan Standard Time (UTC+09).